



富士見だより

羽村市立富士見小学校

校長 市川 晃司

令和7年4月7日 第1号

TEL: 042 (554) 6449

FAX: 042 (578) 1522

令和7年度が始まります ～別れと出会いを大切に～

校庭に咲く彩り鮮やかなチューリップが、児童一人一人の新たな門出を祝うように咲き誇っています。お子様の御入学・御進級、誠におめでとうございます。今年度は、新1年生61名を迎え、14学級、全校児童400名でスタートいたします。

今年度も、「やさしく」「かしこく」「たくましく」の教育目標の実現に向け、昨年度設定した次の合言葉を掲げて教育活動を推進してまいります。

夢いっぱい 感動いっぱい 富士見小学校

現在、そしてこれからの社会は、新型コロナウイルス感染症やAIに象徴されるように、変化が激しく予測困難なものとなっています。そのため、これからの社会を生き抜くためには、自分の夢や目標に向かってたくましく、また、人や自然等と協調しながらしなやかに生きていく資質・能力が必要であると考えます。そこで、本校では「夢」と「感動」をキーワードに、上記の合言葉を全教育活動に関連付けています。詳細については、裏面「令和7年度 学校経営方針 概要版」をご覧ください。なお、4月に開催する保護者会においても、私から直接保護者の皆様に要点や変更点をお話させていただきます。



離任式の場面

音楽専科教員が5年生に語り掛けている場面



さて、左上の写真は、令和7年3月21日（金）に行った離任式で、全校児童と一緒に校歌を歌う去られる先生方です。数年前から、「年度内（春季休業日前）に教職員と児童・生徒等がお別れの機会をもてるようにするため」という目的の下、3月中に実施しています。児童は去られる先生方のお話を聞いたり一緒に校歌を歌ったりすることを通して、ともに過ごした時間を振り返り、感謝の気持ちを表していました。

右上の写真は、令和7年3月25日（火）に行った修了式後のものです。前日、本校の在校生代表として卒業式に参加した5年生を、音楽専科教員がねぎらっている場面です。5年生は、卒業式準備を献身的に行うとともに、当日の式の態度も大変立派でした。また、門出の言葉での歌や入退場時のリコーダー演奏も心がこもっていて感動的でした。最高学年になる自覚がひしひしと伝わってきました。

これら2枚の写真は、まさに別れと新たな出会いの象徴です。今まで、本校の発展に寄与してくださった先生方、巣立っていった卒業生の皆さんが築き上げてくれたものを大切にしながら、よりよい富士見小学校になるように全力を尽くしてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、あらためて今年度も教育活動への御理解、御協力をお願いいたします。そして、「児童の健やかな成長」という同じ目的を達成するために、学校と家庭、地域が連携して児童に関わり、共に育てていくことをお願いいたします。